学校番号	219

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	言語文化　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	基礎からのジャンプアップノート　古典文法　演習ドリル　新装改訂版　（旺文社） Key&Point　みるみる覚える古文単語 300＋敬語 30　三訂番　（いいずな書店） デジタル版　ビジュアルカラー国語便覧　クラウド版（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、現代文、古文、漢文など様々な種類の文章に触れ、それらを読み込み、味わうことで自分自身の考えを深め、感性を豊かのものにしましょう。そのためには、自分の頭で考え、自分の力で作品を読み込むことが必要です。文章読解技術を身に付け、作品の深みを味わうことができたときには、何にも代えがたい感動があります。また、様々な文章に触れることで、我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文に親しむ ［教材］ 宇治拾遺物語 児のそら寝	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：説話文学に興味をもち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。古文の説話と現代のさまざまな文化とのつながりを理解しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	言葉の紡ぐ世界 ［教材］ 羅生門	a：我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	日常へのまなざし ［教材］ 徒然草 ある人、弓射ることを習ふに	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を進んでとらえ、作品ごとの作者の感性を理解しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	漢文に親しむ ［教材］ 1 訓読　　2 返り点 3 再読文字　4 助字 5 訓読に親しむ	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：漢文訓読のきまりを理解しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
二学期	人との交わり ［教材］ 伊勢物語 芥川	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	想いを表す言葉〈一〉 ［教材］ 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：和歌に興味をもち、歌人やその時代の背景に興味をもち、自分なりの解釈を行おうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察 発表の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	文学と人生 ［教材］ 城の崎にて	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート

		c:作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。			
	現代に生きる言葉 ［教材］ 推敲	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 c:故事成語の内容や文化的背景に興味をもち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
三学期	語り継がれる歴史 ［教材］ 平家物語 木曽の最期	a:言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c:作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	人生の指針 ［教材］ 論語	a:文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c:『論語』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	旅と人生 ［教材］ 土佐日記 門出	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 c:学習の見通しをもって、作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをとおして、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	伝統と美 ［教材］ 短歌　十五首	a:本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[書]:自分の知識や体験の中から適切な題材を集め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c:言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察 発表の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート
	伝統と美 ［教材］ 俳句　十二句	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文書の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:自分の知識や体験の中から適切な題材を集め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c:言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査 行動の観察 発表の観察	ワークシート 行動の観察 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　５～１０　）時間

・読むこと　…　（　６０～６５　）時間